

「勝手にくま鉄検定」第3セット目 に挑戦しましょう！

- 1 2017年（平成29年）3月に駅舎を改修して、くま川鉄道の社員が協力して手作りの竹の駅舎が完成しました。この駅は何駅ですか。
① 川村駅 ②一武駅 ③東多良木駅 ④新鶴羽駅
- 2 くま川鉄道にある駅のうち、駅舎前に茶色の一見ナマズのような魚のモニュメントが置かれているのは何駅ですか。
① 相良藩願成寺駅 ②肥後西村駅 ③おかどめ幸福駅 ④東多良木駅
- 3 くま川鉄道で人吉温泉駅から湯前方面に向かっていくと、肥後西村駅を過ぎたあたりから進行方向右手の車窓に雄大な山が見えます。この山は何といいますか。
① 白髪岳 ②国見岳 ③広貝山 ④市房山
- 4 2017年（平成30年）10月から始まったWi-Fi（公衆無線LAN：ワイファイ）の接続サービスがある駅は、くま川鉄道に全部で14ある駅の中でいくつありますか。
① 5 ②6 ③7 ④8
- 5 以下の文中の3箇所の【 】に共通して入る言葉は何ですか。
くま川鉄道の前身である鉄道省や国鉄時代の湯前線は、【 】輸送を中心とした鉄道でした。最盛期には【 】を積載した貨物列車が毎日運転されていましたが、外国産【 】などの需要に押され1980年（昭和55年）6月1日には貨物列車の運行が廃止されました。開通当初から運行していたSLも1975年（昭和50年）ディーゼル列車に代わり、その後は沿線の高校に通う高校生の足として運行を続けていました。
①木材 ②石炭 ③石灰 ④木炭
- 6 くま川鉄道は、大きく鉄道業と旅行業の二つの事業をしています。このうち鉄道業の営業損益は開業以来、年度を追うごとにどのように推移していますか。
①常に赤字である。
②当初は赤字だったが、ある年を境に黒字が続いている。
③当初は黒字だったが、ある年を境に赤字が続いている。
④年によって赤字になったり黒字になったりしている。

7 鉄道省や国鉄時代の湯前線（引き継いだJR九州湯前線）ではなくて、くま川鉄道になって新設された駅は全部でいくつありますか。

①3 ②4 ③5 ④6

8 平成30年（2018年）8月29日に、人吉温泉駅構内にて車両事故（脱線）が発生しました。この列車は何色の列車だったのでしょうか。

①ベージュ色 ②青色 ③白色 ④茶色

9 球磨川と川辺川合流点に架かる登録有形文化財でもある球磨川第四橋梁の橋長は、約何メートルですか。

①322m ②372m ③432m ④482m

10 くま川鉄道は、保有する5つの車両全てについて、テーブル席を撤去する工事を2019年（令和元年）8月から9月にかけて行い、特に、観光列車はびねすトレイン（2020年3月で運行終了）では、車内での飲食が不自由になるなど不便をおかけすることがホームページでもアナウンスされているところです。この改造目的は何に対応するためと報道されていますか。

①立席の確保 ②サイクルトレイン ③車椅子 ④軽貨物の運搬

いかがでしたか？

それでは、「勝手にくま鉄検定」第3セット目の正解と解説です。

1 ④新鶴羽駅

写真のとおり、まさに「竹の駅」です。信号装置の機器が収められた箱も竹に据え付けられているという徹底ぶりに驚かされます。

社員さんの中に竹細工が得意な方がいらっしゃるのかもしれませんが？



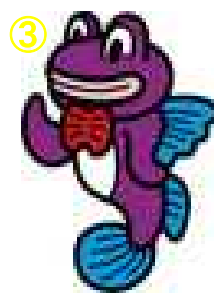
2 ①相良藩願成寺駅

彼の名は「セグッチョ君」らしく、写真①のように、像の下に石に金色で名前が彫り込まれています。先代の社長から「がまんちょくん」と改名させられた経緯があるとネット内の記事で読んだことがあります。彫り込まれた名前は「セグッチョ君」のままです。

色々調べていたら、これはナマズではなくて、「よしのぼり」というハゼ科の淡水魚（写真②）で、球磨川のような清流にしか生息せず、おなかの部分の吸盤で吸い付きながら上流に向かって泳ぐ習性があるそうです。「せぐच्चょ」も「がまんच्चょ」も「よしのぼり」の球磨地方の呼び名でした。

改名させられた「がまんच्चょくん」は、くま川鉄道のマスコット・キャラクターらしく、同社のホームページにも載っていますし（写真③）、廃車になってあさぎり駅に留置されている列車（KUMA-1）にも、写真④のように車体側面にこの魚の絵が描かれています。湯前駅のレールウィングの先のアーチには、写真⑤のように、先端付近に針金製の「がまんच्चょくん」がしがみついている微笑ましいです。

蛇足ですが、この問題は「駅舎前に」とありますので、①相良藩願成寺駅が正解になりますが、これが「ホームに」だったら、③おかどめ幸福駅が正解になります。（写真⑥のように、ホームに福来郎（ふくろう）駅長の像と並んで立って乗客を出迎えてくれます）



ここから重要な補足になります。

前述のように、くま川鉄道のマスコット・キャラクターは「セグच्चョ君」と「がまんच्चょくん」の両方がいるようです。この2つは別個の存在なんでしょうか？

令和元年9月実施の第1回くま鉄検定（初級・中級）では、会社のマスコットについて50問中2問も出題されており、重要視されているようで決しておろそかにできません！そこで、両者をどう使い分けているのか、くま川鉄道の総務部（くま鉄検定担当）の方に質問してみたところ、以下のような趣旨の回答をいただきました。（時系列にまとめ直してみます）

- ① 1989年（平成元年）に10月1日にさかのぼって、くま川鉄道のマスコット・マークとして「セグッチョくん」（カタカナ表記）が生まれた。
- ② 1997年（平成9年）3月に、相良藩願成寺駅前に「セグッチョくん」の銅像が建立。（相良藩願成寺が建て替えられたことを記念）
- ③ 2000年（平成12年）に「セグッチョカード」を発行。
- ④ 2008年（平成20年）、「セグッチョくん」の名称を「がまんちょくん」に変更。（当時就任された厚地社長により、くま川鉄道は、がまんをする会社なので、「がまんちょくん」に変えようという提案を受けたもの）
- ⑤ 2019年（令和元年）10月1日、会社創立30周年を記念して、新しいキャラクターマスコットとして、「せぐっちょくん」（ひらがな表記）が弟として生まれ、今までの「がまんちょくん」は兄という設定がなされた。

結論として、「セグッチョくん」と「がまんちょくん」は同じキャラクターが改名したもので、「せぐっちょくん」とは別物。そして、「がまんちょくん」と「せぐっちょくん」は兄弟という設定です。

会社創立30周年を記念して作成された記念誌には、「がまんちょくん」と「せぐっちょくん」を紹介するページが写真⑦のとおりありました。それによると…



兄「がまんちょくん」（写真内右側）

は、紫色の体で水色の背びれと尾びれ、弟

「せぐっちょくん」（写真内左側）は、黄土色の体で黄色の背びれと5色に分かれた尾びれを持っています。

身長は、兄「がまんちょくん」が75センチ、弟「せぐっちょくん」が70センチで、兄が弟よりも5センチ高く、体重はどちらも2.84キロです。

兄「がまんちょくん」の仕事は「くま川鉄道のPR」、趣味は「手紙を出す」こと、弟「せぐっちょくん」のほうは、それぞれ「くま川清流駅」の駅長、「人間ウォッチング」です。（「くま川清流駅」とは、架空の駅名だそうです）

3 ①白髪岳

①白髪岳（標高1,417m）は、熊本県球磨郡あさぎり町にあり、宮崎県に接する九州山地南部の山です。球磨盆地から冬、眺めると、山頂一帯が樹氷に覆われ、白く輝いて見えるので、老人の髪にたとえて白髪（しらが）岳

と名付けられたという説があります。写真①は、木上駅とおかどめ幸福駅の間で車窓越しに撮った白髪岳の遠景です。

②国見岳は、進行方向左手になります。沿線からは臨めません。上益城郡山都町、八代市泉町、宮崎県椎葉村にまたがり、標高1,739mで、熊本県で一番高い山になります。川辺川の源流はこの山です。

③広貝山（1,187m）は、進行方向左手奥に見える多良木町と五木町の境にある山です。

④市房山は、正面（運転席）に見える山になります。標高1,721mで人吉盆地の東、水上村と宮崎県椎葉村との県境にそびえる霊峰で、熊本県で2番目に高い山です。地元の人には「お嶽（たけ）さん」として親しまれています。写真②は、東多良木駅から撮った市房山の遠景です。



4 ③7

Wi-Fiを利用できる駅は、人吉温泉駅、相良藩願成寺駅、肥後西村駅、おかどめ幸福駅、あさぎり駅、多良木駅、湯前駅の7駅です。初めて利用する際は、ネットワーク接続先から「kumagawa」を選択し、パスワード「extride3020」を入力します。



5 ①木材

問題文にあるとおり、鉄道省や国鉄時代の湯前線は、常に木材と共にありました。ネット上の情報によると、多良木駅はかつて旅客・貨物の取扱量が湯前線で一番多かった駅で、相対式ホーム2面2線を有し、貨物側線も有していたようですが、貨物取扱い廃止後に側線は撤去されてしまい、くま川鉄道に転換時は相対式ホーム1面1線を有するのみになったとあります。

古老の話によると、木材の集積・加工生産地として人吉盆地で最も賑わいをみせた多良木町（町の名前は、文字通り“多くの”良い“木”）は、昭和20年代には人口2万人を数え、木材の買い付け人が全国から訪れるなどして料亭や旅館業等も栄えていたそうです。しかし、その後に襲った木材不況により林業は一気に衰退したとのことでした。

2018年度（平成30年度）末をもって廃校になった多良木高校の命運は、多良木町の栄枯盛衰と重なるところが大きいはずです。

6 ①常に赤字である。

残念なことに、1989年（平成元年）の開業以来、営業赤字が続いています。

くま川鉄道は、1989年に旧JR湯前線を引き継いだ際に、国からの転換交付金や自治体の補助金など計5億6000万円を原資に基金を設立しました。貯金利息を赤字補てんに充てる予定だったのが、バブル崩壊後の低金利でその計画が破綻（はたん）し、不足分を元本の取り崩しで補ってきた歴史があります。熊本地震の影響で観光列車の利用客が落ち込むなどの苦難もありました。一番のお客さんである高校生も、少子化で影響でその数が減り続けていることから、今後も明るい展望がなかなか見いだせないのが現状で、沿線10市町村による経営安定化に向けた補助金を受けて、どうにか鉄路を守ることができています。

くま川鉄道株式会社は、同じ人吉市内にあるくま川下り株式会社などと同様第三セクターで運営されていますから、経営の状況が人吉市から毎年公表されています。インターネット上からもpdfの経営評価表が閲覧できます。私たちが収める税金で運営の一部がまかなわれているわけで、その意味では毎日利用する高校生も経営の実態に関心を持っていただきたいと思います。また、地域の方々にもっと目を向けていただき、利用してもらうよう、みんなで声をかけていきましょう。

7 ①3

おかどめ幸福駅、公立病院前駅、新鶴羽駅の3駅です。

なお、公立病院の正式名称は「球磨郡公立多良木病院」です。

8 ③白色

8月29日の夕方、人吉温泉駅構内で、定期点検を終えた車両を側線上で移動させていたところ、ブレーキが利かず、台車などを置いている小屋に衝突したと事故が報じられました。このため、当該車両（KT-505 と呼ばれる白色の「白秋」号）が使えなくなったため、9月3日の新学期から暫くの間、朝の通学時間帯に代替バスが運行されました。

9 ①322m



2014年（平成26年）7月18日に文化庁のホームページにアップされた報道発表「登録有形文化財（建造物）の登録について」には、第四橋梁について、「球磨川にかかる第四橋梁は、橋長322m、単線仕様の鋼製上路式プレートガーダー14連桁橋と長大なもので、くま川鉄道を代表する土木構造物である」と記してあります。

この橋に関しては、第1セット目の7に詳しい解説を載せていますので、参考にしてください。

10 ②サイクルトレイン

サイクルトレインとは、自転車を鉄道車両内に、解体せずに持ち込むことができるサービスです。

以前は、写真①にあるポスターで広報してあったように、自転車は折りたたむか解体して専用の袋に入れないと持ち込めなかったことになっていました。ところが、2019年（令和元年）8月末頃に行われたテーブル席等を撤去する車両改造を機に、同年10月27

日から解体せずにそのまま持ち込めるようになりました。1週間前から前日までの予約が必要ですが、持ち込み手数料は不要です。そのことを広報するポスターが写真②です。

また、これを機に、KT-501～505の全ての車両の外側面に写真③のようなシールが貼られました。



人吉球磨には「球磨川サイクリングロード」（写真④はその案内看板）が整備されていますし、日本遺産の指定を

受けた寺社や史跡も多数点在していますので、このサービスが開始されると、行きは自転車でいける所まで行って史跡巡り等をして、帰りはくま川鉄道に自転車と一緒に乗って帰るというようなことが可能になります。

2019年（令和元年）7月26日付けの熊本日日新聞朝刊には、次のようにサイクルトレインのことが報じられました。長くなりますが、改造費用の出所など興味深いですから、参考までに引用しておきます。



第三セクター「くま川鉄道」（熊本県人吉市）は、１０月から自転車を車両に積み込める「サイクルトレイン」を運行する。自転車で人吉球磨地域を周遊する旅行者の利便性を向上させ、鉄道の利用促進を目指す。

全車両（５両）を改修する。テーブルを挟んで対面するボックス型の座席を、自転車を置くスペースを確保するため、乗客が通路を挟んで対面する形式に変更。自転車は座席に座った状態でハンドルやサドルを支え持つ形を想定している。学生の夏休み期間を含む８月５日から９月１０日ごろまで改修作業を行う。

特別料金は不要だが、事前の予約が必要。通勤・通学などにかかる時間帯や、土日祝日運行の観光列車も除く。同社は「サイクルツーリスト向けの取り組み。これから具体的なルールを検討していきたい」と話している。

改修費は１７６５万円で、国、県が３分の１ずつ補助。人吉市議会は２５日、臨時会を開き、くま川鉄道が負担する６７５万円を助成する特別会計補正予算案を可決した。

このように、表向きはサイクルトレインへの対応と報道されていますが、筆者は、①立ち席を確保して、朝夕の混雑緩和が本当の目的ではないのかと密かに考えています。実際、ＫＴ-５０１の場合、車両改造前の座席４０人・立ち席６９人・合計１０９人が、改造後は座席４１人・立ち席７３人・合計１１４人のように、旅客定員が５人増えています。

写真⑤が改造前で、写真⑥が改造後です。

